

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
 コード番号 4828 URL <http://www.to-be.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 石田 壽典
 (氏名) 片山 博

TEL 03-3510-1600

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,812	7.4	39	△15.0	24	△13.0	△6	—
23年3月期第2四半期	5,411	5.1	46	△36.6	28	△50.9	18	△14.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △5百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 16百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△3.09	—
23年3月期第2四半期	9.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,076	2,629	37.2
23年3月期	7,146	2,705	37.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,629百万円 23年3月期 2,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	1.5	260	3.4	230	2.5	110	12.3	55.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	2,000,000 株	23年3月期	2,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	158 株	23年3月期	158 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	1,999,842 株	23年3月期2Q	1,999,920 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、添付資料4ページの「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況で始まりましたが、生産活動の回復を背景に景気は持ち直しの動きがみられました。しかしながら、海外経済の下振れや円高などにより景気の先行きは不透明な状況にあります。

情報サービス産業におきましては、顧客の慎重な投資姿勢が継続しており、厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループは顧客満足の更なる向上を図るため、技術力を基盤としたプロジェクトマネジメント力とコンサルティング力の活用による高付加価値サービスの提供に努めました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高および売上高については前年同期を上回りましたが、不採算案件の発生等により売上総利益が大幅に減少し、販売費及び一般管理費の削減に取り組みました。以上の結果、受注高は5,836百万円（前年同四半期比11.0%増）、売上高は5,812百万円（前年同四半期比7.4%増）、営業利益は39百万円（前年同四半期比15.0%減）、経常利益は24百万円（前年同四半期比13.0%減）、四半期純損失は6百万円（前年同四半期 四半期純利益18百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①ソリューション事業

他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築につきましては、顧客のグローバル展開支援や情報の可視化を図る業務システム連携ソリューションの提供を推進するとともに、既存顧客との関係強化と新規顧客への積極的な提案による受注獲得に努めました。以上の結果、受注高および売上高は前年同期を上回りましたが、不採算案件の発生等により、プロジェクトの採算性が悪化いたしました。当セグメントの当第2四半期連結累計期間の受注高は4,193百万円（前年同四半期比13.9%増）、売上高は4,132百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。

②プロダクト事業

自社開発ERPパッケージ「MCFrame」および「A.S.I.A.」につきましては、引き続き顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を推進し、新シリーズ「MCFrame XA」などのライセンスの拡販に注力いたしました。また、顧客のグローバル展開支援に積極的に取り組むとともに、有力パートナーとの連携推進を通じた競争力強化に努めました。以上の取り組みにより、当第2四半期連結累計期間のライセンス売上高は過去最高の608百万円（前年同四半期比11.3%増）となり、当セグメントの受注高は1,552百万円（前年同四半期比4.4%増）、売上高は1,569百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

③システムサポート事業

東洋ビジネスシステムサービス株式会社が展開する運用・保守等のシステムサポート事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の受注高は90百万円（前年同四半期比0.2%増）、売上高は110百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

1) 資産の部

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加等により、前連結会計年度末と比較して64百万円増加し、5,098百万円となりました。なお、当第2四半期連結会計期間末の総資産に占める流動資産の比率は72.0%であります。

また、固定資産につきましては、有形固定資産及び無形固定資産の減価償却が無形固定資産の取得等を上回ったこと等により、前連結会計年度末と比較して133百万円減少し、1,978百万円となりました。

これらの結果、資産の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比較して69百万円減少し、7,076百万円となりました。

2) 負債の部

負債の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少、受注損失引当金の増加等により、前連結会計年度末と比較して6百万円増加し、4,446百万円となりました。

3) 純資産の部

純資産の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、四半期純損失を計上したことによる減少、剰余金の配当による減少等により、前連結会計年度末と比較して75百万円減少し、2,629百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して0.7ポイント減少し37.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して60百万円減少し、548百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益18百万円を計上し、減価償却費387百万円、売上債権の減少351百万円等が、たな卸資産の増加570百万円等を上回ったことにより、全体として371百万円の収入(前年同四半期 651百万円収入増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フローの状況)

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得(自社開発ERPパッケージ「MCFrame」の開発投資等)による支出等により、全体として262百万円の支出(前年同四半期 77百万円支出減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フローの状況)

財務活動によるキャッシュ・フローは、銀行からの短期借入金の純減額、配当金の支払による支出等により、全体として170百万円の支出(前年同四半期 699百万円収入減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想は平成23年5月10日公表の予想値より変更ありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	608,868	548,090
受取手形及び売掛金	3,420,892	3,069,095
仕掛品	359,874	930,517
その他	644,046	550,619
流動資産合計	5,033,682	5,098,323
固定資産		
有形固定資産	165,193	147,082
無形固定資産		
ソフトウェア	1,497,920	1,388,274
その他	2,659	2,114
無形固定資産合計	1,500,580	1,390,388
投資その他の資産		
その他	452,098	446,438
貸倒引当金	△5,499	△5,499
投資その他の資産合計	446,598	440,938
固定資産合計	2,112,371	1,978,410
資産合計	7,146,054	7,076,733
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	429,064	383,023
短期借入金	2,400,000	2,300,000
未払法人税等	8,382	24,644
賞与引当金	477,393	477,275
品質保証引当金	43,159	44,708
受注損失引当金	34,291	214,655
その他	1,048,179	1,002,491
流動負債合計	4,440,471	4,446,799
固定負債	235	131
負債合計	4,440,706	4,446,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	697,600	697,600
資本剰余金	426,200	426,200
利益剰余金	1,586,529	1,510,360
自己株式	△168	△168
株主資本合計	2,710,161	2,633,992
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,813	△4,189
その他の包括利益累計額合計	△4,813	△4,189
純資産合計	2,705,347	2,629,803
負債純資産合計	7,146,054	7,076,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,411,599	5,812,540
売上原価	3,903,179	4,472,956
売上総利益	1,508,420	1,339,583
販売費及び一般管理費	1,462,416	1,300,472
営業利益	46,003	39,110
営業外収益		
債務勘定整理益	642	—
法人税等還付加算金	—	994
持分法による投資利益	—	869
その他	242	182
営業外収益合計	885	2,047
営業外費用		
支払利息	13,153	15,030
持分法による投資損失	3,104	—
為替差損	1,702	1,057
その他	282	137
営業外費用合計	18,243	16,226
経常利益	28,645	24,931
特別損失		
投資有価証券評価損	—	5,009
固定資産除却損	286	1,478
特別損失合計	286	6,487
税金等調整前四半期純利益	28,359	18,443
法人税等	9,787	24,618
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	18,571	△6,174
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,571	△6,174

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	18,571	△6,174
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,631	624
その他の包括利益合計	△1,631	624
四半期包括利益	16,940	△5,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,940	△5,550
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	28,359	18,443
減価償却費	331,564	387,169
のれん償却額	1,291	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△156	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,346	△117
品質保証引当金の増減額(△は減少)	936	1,549
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△126,983	180,363
受取利息及び受取配当金	△16	△11
支払利息	13,153	15,030
為替差損益(△は益)	1,702	1,057
持分法による投資損益(△は益)	3,104	△869
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5,009
固定資産除却損	286	1,478
売上債権の増減額(△は増加)	△281,743	351,214
たな卸資産の増減額(△は増加)	200,982	△570,642
前渡金の増減額(△は増加)	△5,920	43,584
仕入債務の増減額(△は減少)	△348,432	△98,465
前受金の増減額(△は減少)	19,487	41,334
その他	47,968	△17,346
小計	△157,762	358,782
利息及び配当金の受取額	16	11
利息の支払額	△13,615	△15,182
法人税等の還付額	13,084	39,940
法人税等の支払額	△121,755	△11,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	△280,031	371,770
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,257	△9,213
無形固定資産の取得による支出	△323,962	△253,636
その他	15	620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△340,205	△262,229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△937	△431
配当金の支払額	△69,243	△69,676
財務活動によるキャッシュ・フロー	529,818	△170,108
現金及び現金同等物に係る換算差額	△278	△210
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△90,697	△60,777
現金及び現金同等物の期首残高	625,833	608,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	535,136	548,090

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。